

小池ゆうや 後援会事務所

〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-10-3
TEL. 048-671-7789 FAX. 048-672-8579
yuyakoik@gmail.com

政策の詳細をインターネットで確認することもできます。

小池ゆうや



小池ゆうや

上尾市議会議員



YUYA KOIKE, Ageo City Councilor Report 2024.10

活動レポート 15

上尾市消防団として避難訓練をお手伝い
9月28日に東町小学校で実施された防災訓練に、消防分団の団員として参加いたしました！知識だけでなく避難経路の確認など、体験する機会の重要性を感じることができました。

コラム R5 決算が認定。決算審査を受けて小池が思うこと
Pickup!! 解説!! 図書館本館の更新方針について
特集 一般質問のポイントと9つの要望

SNS公式アカウント
SNSでも日々の活動発信中！
facebook instagram X (旧Twitter) LINE

小池ゆうや後援会では、入会いただける方を募集しています。
本会は、小池ゆうやの政治活動を後援することにより、上尾市政の発展と上尾市民生活の向上を図ることを目的とします。また本会は、会費または、寄附金及び賛助金で運営されます。
趣旨にご賛同いただけましたら、「小池ゆうや後援会事務所」までお問合せ下さい。

Pickup!! ニュース

解説！図書館本館の更新方針について

老朽化により現本館は「リノベーション」する方向で検討。

図書館はコミュニティ醸成やにぎわい創出などの役割を担うまちづくりにとって重要な施設です。近年の人口動態の変化や情報社会の進展により、図書館機能をアップデートする必要性に加え、本市の図書館本館は2024年で築43年を迎えて老朽化も顕著になっていきます。以上より本年8月、図書館本館の更新方針が示されました。

本館の老朽化や更新に対する対応状況は？

今まで本館は必要に応じて適宜維持保全を行ってきました。例えば空調設備設置やエレベーター改修を含めた工事費用に累計約1億6千万円、施設内設備の修繕費に累計約4千600万円、PC用端末ソフトや椅子、テーブルなどの什器・備品に累計約4千万円が投資されています。加えて先述した通り、人生100年時代を迎えた各年齢層のライフスタイルごとのニーズを捉えた機能や、SDGs及びICTの発展に伴う電子化への対応を今後推進していく必要があります。

具体的にどんな施設になるの？

具体的かつ詳細な設備については、更新方針をもとにこれから具体化されていきますが、市民ワークショップの結果を踏まえ、「学習室機能の強化」「カフェなどのコミュニティスペースの拡充」など新たな付加価値を生む機能や「自動貸出返却機」「授乳スペース」など利便性・既存機能の拡充に繋がる内容も並行して検討されると考えます。特筆すべきは、本市の財政状況や投資対効果を踏まえ、これらの機能を合わせ持つ施設を場所を変えず現本館をリノベーションすることで実現しようとしている点にあります。

リノベーション中は「仮本館」を設置する案が優勢？

現時点では、別の場所に「仮本館」を設置する案が優勢です。小池の考えとしては、本年6月の一般質問でも触れていますが、図書館がにぎわいを創出する場であることを踏まえ、より駅に近接した立地かつ様々な行政サービス（駅前保育ステーションや各種手続きなど）との複合化を図るべきと考えます。本案については多々検討事項もありませんが、本市の利便性向上には駅前周辺の快適性・滞留性・回遊性を高める必要があると考えていることから、仮本館を活用した実証実験の実現に向け働きかけを行ってまいります。

	① 現本館リノベーション型	② 民間施設テナント型	③ 現在地建替型
費用対効果	既存施設の制約があり、拡張性は制限されるが、必要な課題解消が可能。また、耐震診断済みの躯体を最大限活用するため環境負荷が低く、整備費も比較的低廉でコストパフォーマンスは高い。	立地や面積、賃料などが不確定で、拡張性やコストの判断は現時点で難しい。一方で、保有資産の増加を伴わず、民間施設との相乗効果など付加価値も期待できる。整備中の仮設が不要なことも、経費的に有利である。	建設用地を考慮する必要が無く、拡張性を一定程度確保可能であるが、建蔽率や容積率、公共施設マネジメントなどの制限から大幅な規模拡大はできず、投資額が大きい割りに効果が限定的である。
リスク要因	①隠れた瑕疵による整備内容の変更 ②工事期間中の図書館運営（休館/仮設）	①テナントの選定（立地・面積・賃料等） ②実施可能時期がテナント都合による	①工事期間の長さ ②投資の大きさによる実施機会の喪失 ③除却に伴う環境負荷・追加工事の発生 ④工事期間中の図書館運営（休館/仮設）

→「上尾市図書館本館更新方針」より抜粋

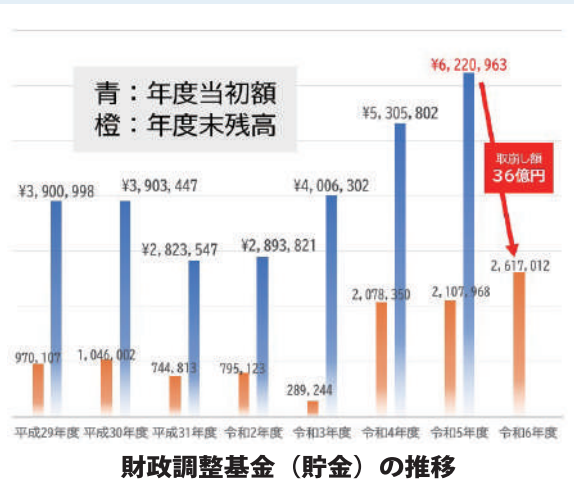
小池ゆうやコラム

R5 決算が認定。決算審査を受けて小池が思うこと。

毎年9月議会では前年度の決算審査が行われます。今回はR5の決算が審査され、小池も決算特別委員会委員として審査に携わりました。

歳入は引き続き堅調に推移。今後についての見通しは？

本市の財源は例年45%程度を市税に頼っており、特に個人市民税収と固定資産税収はここ数年堅調に増加を続けています。しかしながら、個人市民税については今後の人口見通しや生産年齢人口の減少を踏まえ、頭打ちになる可能性があることが答弁でも明らかになりました。本市の納税率は他自治体よりも高いことを考慮すると、行政サービスの質の維持を図るためには、①人口減少の抑制、②住宅・経済政策の推進、③子育て世帯に対する支援拡充の3本柱を両立していく必要があります。



R5 決算を受けて、R7 予算編成への要望書を提出！

今後の財政見通しを可視化できるかがポイント！
私が財政を見る上で重要視している「財政調整基金（市の貯金）」についても分析を深掘りする必要がある。毎年の取り崩し額は増える一方で、取り崩し後の残高も増加を続けています。年度ごとで過度にお金が余るといふことは、実は「当該年度でできたはずの事業があった」可能性があるということです。今後多くの公共施設が更新を控えていることも考慮すべきですが、基金や市債の運用についてはより明確な中期財政計画を示すべきと考えます。

要望項目全 96 項目!! あげお志誠ネットワーク
R7 政策大綱・予算要望書
※小池ゆうや HP から閲覧できます

一般質問

令和6年9月議会にて、市政に対する一般質問を行いました。「公共工事」「保育行政」「安心安全なまちづくり」「自治会」の4項目につき9点を要望しました。その中で今回は「安心安全なまちづくり」に関する内容をご紹介します。詳細は、以下二次元コードまたは市議会HPから動画でも視聴可能です。



- 小池川市市政執行部「安心安全」要望
- (1) 公共工事の評価のさらなる有効活用
 - (2) 持続的な保育行政実現のため土曜日等の共同保育実装と保育士のさらなる働き方改革
 - (3) 交通事故防止特別地域の指定に合わせた、危険箇所への対策見直し
 - (4) 公園等での落雷被害予防策の周知徹底
 - (5) 指定避難所への避雷設備の整備
 - (6) 福祉避難所の適正配置と広域防災の推進
 - (7) 冷却ミストの効果をも踏まえた施策の横展開
 - (8) 自治会担い手不足の問題に次の一手を
 - (9) 自治会の意義を共通化する条例制定

(A) 交通事故 に対して、より実効的な予防策を!!

要望 交通事故防止特別対策地域の指定に合わせ、交通危険箇所への対策の見直しも。

課題 本市では直近の交通死亡事故の増加を受け、**交通事故防止特別対策地域の指定**を受けました。この指定を受け、警察と連携した取り組みが始まっており、**確認したところ事故予防に関する啓発が主となり、抜本的な解決には至らないものと考えます。**

展望 そこで、市民の皆さまから改善を望んでいただいている主要な危険箇所について取り上げさせていただきます。改め**て改善策がないか警察と協議し、対策を見直すべきと要望**しました。左記に、改善要望を行った箇所をご紹介します。引き続き進捗を確認してまいります。

藤波 カオル幼稚園付近交差点

車両の走行速度が早く、見通しが悪いため接触事故が頻発している交差点

愛宕1丁目 旧中山道T字路

夜間の交通事故が多発しているにも関わらず改善がみられないT字路

東町3丁目 芝川付近通学路

朝の交通量が多く、一部歩行者スペースが狭くなっている通学路

日の出 水上公園跡地裏通学路

抜け道として交通量が多いが、歩道が狭く横断歩道もない通学路

(B) ゲリラ雷雨に対する 落雷 対策は?!

要望 ・公園等での落雷被害予防策の周知徹底を。
・学校更新に合わせ指定避難所に避雷設備の設置を。

背景 今夏はゲリラ雷雨による停電の頻発など、市民生活に大きな影響がありました。自宅のすぐ近くに落雷したといった話もあつたため、落雷による直接的な被害があつたかどうか質問しました。

課題 結論、本市における直接的な被害や建物被害については確認できなかったとのことでした。しかし、落雷がどの地点で起きたのかは精密に把握が難しいことから、**①「市民自身が身を守る方法を理解し実践できること」と②指定避難所となっている公共施設に対する対策を講じること」は非常に重要であると考えます。**

展望 ①については、公園で子どもたちが遊んでいた際に発生した雷雨を想定し、日本気象協会が公開している「知る防災」で紹介されている内容の実践が有効であると感じたため、市として積極的に**広報すべきと要望**しました(左図参照)。②に対しては、確認したところ市内48か所の指定避難所の内、**20か所には避雷設備が設置されていない**ことが分かりました。子どもたちの安心安全を確保することはもちろん、複合災害への対応が重要視されている昨今、**学校施設の更新に合わせて避雷設備の設置を検討すべきと要望**しました。

48か所の指定避難所の内、20か所には避雷設備が整備されていない。落雷に対して身の安全を確保する方法の周知と合わせて、有事の際に落雷被害も想定した複合災害に対する対策の検討が必要。

避難できる場所がないときは

- 頭をなるべく低くしてしゃがむ
- 耳をふさぐ
- 爪先立ちでかかとをつけた姿勢を保つ

出典:tenki.jp「知る防災・雷が発生したときは」(https://tenki.jp/bousai/knowledge/6362060.html)

屋外で雷に遭遇したら

出典:tenki.jp「知る防災・雷の危険から避難するときは」(https://tenki.jp/bousai/knowledge/64562a0.html)

避難所No.	学校名	避難所の有無
1	上尾中学校	無
2	栗中中学校	有
3	富士見小学校	無
4	栗小学校	無
5	中央小学校	無
6	上尾小学校	無
7	東町小学校	有
8	上尾特別支援学校	無
9	上尾運動公園	無
10	コミュニティセンター	無
11	埼玉県立武道館	有
12	スポーツ総合センター	有
13	太平中学校	有
14	平方北小学校	有
15	平方小学校	有
16	上尾橋高校	有
17	瓦葺中学校	有
18	原市中学校	無
19	瓦葺小学校	有
20	尾山台小学校	無
21	原市南小学校	有
22	原市小学校	無
23	上尾鷹の台高校	有
24	大石中学校	有
25	大石南中学校	有
26	大石北小学校	有
27	大石小学校	無
28	大石南小学校	有
29	上尾高校	無
30	大石公民館	無
31	上平中学校	有
32	上平北小学校	有
33	上平小学校	無
34	芝川小学校	有
35	上尾かしの木特別支援学校	有
36	大谷中学校	有
37	南中学校	有
38	西中学校	有
39	今泉小学校	有
40	西小学校	有
41	大谷小学校	無
42	鴨川小学校	有
43	上尾南高校	有
44	聖学院大学	有
45	市民体育館	有※

※市民体育館は避難所ではない避難設備を設置(メッシュ法)

(C) 福祉避難所 が無い地区に対策を!!

要望 ・福祉避難所の未設置地区に適正な配置を。
・自治体をまたいだ広域防災への取り組みを。

背景 高齢者や身体に特別な補助を必要とする方を受け入れるための福祉避難所は現在市内に32か所設置されており、震災などの有事の際に重要な施設となります。

課題 しかし、仲町・愛宕・栄町・日の出・原市の近隣には設置がなく、道路被害の状況によっては輸送が困難になる恐れがあります。そのため、福祉避難所においてもできるだけ、**市民の生活圏に設置されていることが理想**です。



(D) 熱中症対策 のための冷却ミスト効果は?!

要望 ・冷却ミストの効果も踏まえて、バス停や他駅といった「人の滞留場所」へ横展開を。

背景 8月1日、上尾駅東西口に冷却ミストが設置されました。周辺気温2〜3度の冷却効果が見込んでいたことから、その効果について伺いました。

課題 結論、冷却効果については平均およそ1〜2度、時間や天候により東口では最大マイナス6度、西口では最大マイナス6.5度の効果があり、熱中症対策については一定の効果があることが分かりました。しかし、**噴射量や設置位置など改善できる要素もある**と考えます。

展望 熱中症対策への警戒意識は高まっているものの、**搬送者数は10年前の1.6倍**になっていきます。その状況を踏まえると、**1日4万人の利用者にメリットのある本施策は投資対効果に優れた**取り組みであると考えます。そのため、上尾駅のみならず、**北上尾駅やバス停など他の「人の滞留場所」への横展開を要望**しました。

上尾駅東口の冷却ミストの様子